

平成 29 年度第 3 回横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会
議事録

- 1 開催日時 平成 29 年 10 月 5 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
- 2 会 場 横須賀市保健所 第 1 研修室
- 3 出席者
 - 委 員 川辺幹男、武 雅兄、田中浩二、長谷川亜弥子、揚箸明朗、山本妙子
渡部月子 (敬称略、五十音順)
 - 事務局 小林 利彰：保健所長
夏目 真一：保健所健康づくり課長
葛貫 博之：保健所健康づくり課生涯現役推進担当課長
角田 幸代：保健所健康づくり課係長
岡安 智子：保健所健康づくり課主任
田辺 久美子：保健所健康づくり課主任
長谷川 美千代：保健所健康づくり課主任
能條 絢加：保健所健康づくり課
 - 一般傍聴人 0 名
- 4 欠 席 者 嘉山静子
- 5 配布資料の確認
- 6 開 会 事務局（保健所健康づくり課健康づくり推進係長）が司会となり開会
した。
- 7 挨拶 部会長が挨拶

これより先は、部会長による議事進行で行われた。

8 議事

(1) 前回の意見に対する回答について

- ・事務局が「資料 1 第 2 回専門部会でいただいた意見等と回答」について説明した。

(2) 中間評価・改定計画（案）について

- ・事務局が資料 2 「中間評価・改定計画（案）」について説明した。
部会長より意見、質問等を求めた。

部会長質問 28 ページの「がん」と「悪性新生物」の使い分けはしているのか。

事務局回答 「悪性新生物」は国の人口動態統計に使われているので、それに表現をあわせるように調整したい。

部会員質問 54 ページの「歯・口腔の健康」の分野で、「各自の歯の状態にあったブラッシングの普及啓発」とあるが、全年代において必要なことではないのか。

事務局回答 すべての年代に必要なので、修正する。

部会員意見 ブラッシングについては、歯ブラシ、歯間ブラシ、デンタルフロス、洗口剤もあるので、それらを全部含めて「口腔清掃法」と表現した方が正確だと思う。

事務局回答 その方向で検討させていただきたいと思う。

部会員意見 53 ページの食育の具体的取り組みの中に、「学校給食での地産地消の推進」があり、大きな概念でいくと「学校における食育の推進」に含まれると思うが、もし両方残すのであれば、並べて書いた方がバラバラな感じがしない。

事務局回答：この部分については、書く順番を検討させていただきたい。

部会員意見 今回の改定で新しく入れたところには（新）を入れたり、下線を引いたりした方が見やすいのではないか。

事務局回答 目立つ方が見る人もわかりやすいので、検討させていただく。

部会員意見 ライフステージ別の取り組みのページに、「精神保健/自殺対策」「健康増進事業/特定健診・保健指導」というのが枠に囲まれてあるが、ぱっと見たとき、大体 18 歳から 35 歳くらいまでが自殺対策で、35 歳から 65 歳くらいまでが健康増進対策というようなイメージがわくので、並行して長く伸ばした方がいい。

事務局回答 確かに誤解を招く部分。ここの部分をすべてとってしまった方がいいという思いもある。記載するなら誤解の内容にしたい。

部会員意見 65 ページに「食品ロスの削減など」と書いてあるが、「食品ロス」について理解していない方もいるので、注記を主要なところ 1 か所に入れていただきたい。

事務局回答 注記を入れさせていただく。

部会員意見 70 ページの取り組みの分野「栄養・食生活」で、「食事バランスの目安を活用しやすくする取り組みを」とあるが、「今の目安はいろいろあってわかりにくいから、さらに新しい何かを作っていく」とも読めなくないし、「いろいろあるものから、その時々を使う側にとって使いやすいものを選んでもっと使ってください」ということなのか、意図が

わからない。

事務局回答 後者の部分の「使いやすいものを使ってください」という意図で、目安という表現を使わせていただいた。

部会員意見 目安はいいが「活用しやすくする」という部分がわかりにくいので「もっと活用を促す」とか「いろいろな方によってふさわしいものを積極的に使っていただく」などの言葉を添えるとわかりやすいと思う。

事務局回答 はい。表現は検討させていただく。

部会員意見 26、27 ページの「食生活改善推進員を増やす」というところは「ヘルスマイトよこすか」となっており、下の食生活改善推進員の活動の周知は「ヘルスマイト」となっている。これはあえて使いわけているのか。

事務局回答 ご指摘の通り、使いわけをしている。個人は「ヘルスマイト（食生活改善推進員）」、大きく全体を指すときは「ヘルスマイトよこすか」という呼び方をしているので、会員数を増やす取り組みのほうは「ヘルスマイトよこすかの会員数を増やす」といった表現になっている。

部会員意見 65 ページに「食育をアプローチしていく」とあるが、アプローチという言葉はここでの使い方にふさわしくない気がする。

事務局回答 どの言葉が適当なのか再度検討させていただく。何かご意見はあるか。

部会員意見 「食育を推進する」でよいのではないか。

事務局回答 「幅広い年代に向けて食育を推進していく必要があります。」の方向で修正させていただく。

部会員意見 83 ページの①の「健康教育事業」について、新しく「職域への健康教育の実施」が入っているが、これこそ職域との連携と思う。既に職場で健康教育を進めているところへの支援ということもあるのではないか。

事務局回答 既に地域職域連携会議というネットワークがあり、保健師が参加している。また商工会議所との連携も図っているので、既にあるネットワークを活用し、その中で飲酒についてアプローチをし、しっかりとした健康教育をしたいということ、こちらから投げかけていきたいので、この項目を加えさせていただいた。

部会員質問 79 ページの「活動と休養のバランスをとることの重要性の推進」の睡眠と生活習慣病の健康教育事業は、地域との連携、職域との連携となっているが、「飲酒」のところでは、あえて連携にしないという意図があるのか。

事務局回答 82 ページで「職域などとも連携し、適正な飲酒量や飲酒に関する正して知識の普及啓発に取り組みます。」という取り組みの方向性として

いる。内容的には先ほど同様に連携を図っていく。より連携という言葉がわかりやすければ、少し表現の仕方を検討させていただく。

部会員意見 84 ページの「QOL」に注釈を入れてほしい。

事務局回答 よりわかりやすい表現は心掛けていきたい。どうしても専門用語を使わなければいけないところは注釈を入れさせていただく。

(3) 今後のスケジュールについて

- ・事務局が「今後のスケジュール」について説明した。

次回の専門部会開催日程について

平成 30 年 1 月 18 日（木）に開催予定

(以上)